

中期経営計画における経営目標・経営指標の進捗状況

法人名等		目標の内容・実績			
【法人名】 公益財団法人埼玉県下水道公社	目標	全水循環センター放流水の平均BOD値	温室効果ガス排出量の削減	運転の工夫等によるコスト削減	普及啓発事業参加者
		公社が維持管理を行う水循環センターの放流水の平均BOD値	公社が維持管理を行う水循環センターの温室効果ガス排出量の平成25年度比の削減率	公社が維持管理を行う水循環センターにおける令和3年度比でのコスト削減額の合計	公社HP・SNS閲覧者及び各種イベント参加者数の合計 うち「水循環センター見学者」及び「移動下水道教室参加者」数の合計
		各年度5mg/ℓ以下	【令和5年度目標】 平成25年度比△27%以上 【令和6年度目標】 平成25年度比△29%以上 【令和7年度目標】 平成25年度比△31%以上 【令和8年度目標】 平成25年度比△34%以上 【令和9年度目標】 平成25年度比△37%以上	【令和5年度目標】 令和3年度比△9,000万円以上 【令和6年度目標】 令和3年度比△1億2,000万円以上 【令和7年度目標】 令和3年度比△1億5,000万円以上 【令和8年度目標】 令和3年度比△1億7,000万円以上 【令和9年度目標】 令和3年度比△1億8,000万円以上	各年度 公社HP・SNS閲覧者及び各種イベント参加者 17万人以上 うち「水循環センター見学者」及び「移動下水道教室参加者」各年度8,000人以上
	各年度の実績	【令和5年度実績】 2.5mg/ℓ 【令和6年度実績】 2.9mg/ℓ	【令和5年度実績】 平成25年度比△27.1% 【令和6年度実績】 平成25年度比△28.1%	【令和5年度実績】 令和3年度比△1億6,941万円 【令和6年度実績】 令和3年度比△3億2,153万円	【令和5年度実績】 公社HP・SNS閲覧者及び各種イベント参加者 41万1,946人 うち「水循環センター見学者」及び「移動下水道教室参加者」 6,822人 【令和6年度実績】 公社HP・SNS閲覧者及び各種イベント参加者 28万7,560人 うち「水循環センター見学者」及び「移動下水道教室参加者」 7,268人
【中期経営計画の期間】 令和5年度～令和9年度	法人による自己評価	流入水の状況に応じて反応タンクへの送風量等を適切に管理するとともに、発生汚泥の状況に応じた汚泥処理を適切に実施し、良好な放流水質の確保に努めた。 この結果、令和6年度の平均BOD値については、目標を達成した。	自然運転(汚泥そのもののエネルギーで汚泥を燃焼)による都市ガスや灯油などの補助燃料や電気の使用量削減、高温焼却(焼却炉の温度を850℃以上にコントロール)による一酸化二窒素の発生抑制、汚泥の消化で発生したバイオガスを利用した焼却炉の運転など、様々な取組で温室効果ガスの削減に努めた。 しかしながら、令和6年度の温室効果ガス排出量については、電力排出係数が計画策定時の見込みより高止まりしており、また八潮陥没事故に伴う未消化汚泥量の増加や設備故障に伴う自然運転時間の減少により、目標未達であった。	放流水質と電力使用量削減を両立する最適運転、超微細散気装置など省エネ機器への更新、薬品・燃料等の効率的使用により、燃料費や電気料・薬品費等のコスト削減に努めた。 この結果、令和6年度のコスト削減額については、目標を達成した。	ホームページやTwitter、InstagramなどのSNSによる情報発信を積極的に行い、令和6年度は、下水道展への出展や埼玉デザインマンホール人気投票などに取り組んだ。 この結果、令和6年度のHP・SNS閲覧者及び各種イベント参加者数については、目標を達成した。 「水循環センター見学者」及び「移動下水道教室参加者」の目標である「8,000人以上」は、新型コロナウイルスの感染拡大前の実績から算定した人数。令和6年度については、八潮道路陥没事故に伴う一部施設見学の中止や、コロナ前と比較し小学校の社会科見学での見学数が減っている影響と思われ、目標未達であった。